

講義コード	B1002401	開講年度	2021	講義区分	講義	講義開講時期	前期
講義名	教養基礎セミナー1①			開講学期	1	基準単位数	1.00
(副題)		実務経験		開講曜日	火曜日	開講時限	2時限
開講学部・学科	工学部先端工学基礎学科			科目分類名	教養科目		
英文科目名	Basic Academic Seminar 1(1)			科目分野名	ナンバリングコード1011		
担当教員	教育職員	◎ 浅野 幸治		職名	准教授	asano@toyota-ti.ac.jp	
担当教員	教育職員	江口 建		職名	教授	eguchi@toyota-ti.ac.jp	
担当教員				職名			

※担当教員が複数の場合は3名まで表示しています

授業の目的・方針

この授業では、大学生にとって必須な技術、すなわち論理的な文章を書く技術を伝授する。学期の最後のほうでは、具体的な問題を例に取り上げて、議論を作るための論点について考察してみる。

授業の達成目標

- ① 客観的で平明な文章を書けるようになること。
- ② 論文の作法を身につけること。
- ③ 実際に頭を使って自分の考えをまとめ、レポートや研究論文を書けるようになること。

学習・教育目標

【学部ディプロマポリシーに基づく。〔対応する授業の達成目標〕】

- ◎ (i) 日本語による的確なコミュニケーション能力および英語等の外国語による基本的なコミュニケーション能力〔①～③〕
- (ii) 物事に対して幅広い見方、考え方ができるとともに、説明できる能力〔①～③〕
- (iii) 十分な工学基礎の知識を修得し、それを工学分野の学習に適用する能力〔 〕
- (iv) 機械システム、電子情報および物質工学の各分野の基礎知識とこれらの内少なくとも1分野の専門知識・技術〔 〕
- (v) 目標を把握し、創造性を発揮し解決策を立て、問題を解決する能力〔 〕
- (vi) 修得した学識と能力を応用し、技術者の果たすべき役割と社会的責任を理解しつつ、研究を遂行できる能力〔 〕

授業形式

2クラス編成（前半クラス）

◆ICTを使用する授業（左に○）

クリッカーを用いた小テスト、Zoom等を用いた投票機能、チャットを用いた質問受付等

◆アクティブ・ラーニング型の授業要素（番号左に○）

- (1) PBL（課題解決型学習）
- (2) 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う）
- (3) ディスカッション、ディベート
- (4) グループワーク
- (5) プレゼンテーション
- (6) 実験、実技、実習およびその要素を含む科目、フィールドワーク

成績評価方法

〔 〕内は対応する授業の達成目標

宿題3回 50%〔①②③〕、レポート50%〔①②③〕

10回以上出席していることが、成績評価の前提条件である。言い換えると、出席回数が10回に満たない場合、自動的に不合格になる。

講義コード	B1002401	講義名	教養基礎セミナー1①
-------	----------	-----	------------

オンライン授業の場合も成績評価方法は同じとする。

教科書

戸田山和久著「新版 論文の教室——レポートから卒論まで」(日本放送出版協会)2012年 ISBN No. 978-4140911945

浅野幸治「小論文の書き方」配布資料

他にも資料を配る。

参考書、文献

(1) 野矢茂樹「新版 論理トレーニング」(産業図書)2006年 ISBN No. 978-4782802113

(2) 伊勢田哲治著「哲学思考トレーニング」(ちくま新書)2005年 ISBN No. 978-4480062451

(3) 小河原誠著「読み書きの技法」(ちくま新書)1996年 ISBN No. 978-4480056597

(4) 河野哲也著「レポート・論文の書き方入門 第4版」(慶應義塾大学出版会)2018年 ISBN No. 978-4766425277

(5) 山内志朗著「ぎりぎり合格への論文マニュアル」(平凡社新書)2001年 ISBN No. 978-4582851038

(6) 木下是雄著「理科系の作文技術」(中公新書)1981年 ISBN No. 978-4121006240

(7) 本多勝一著「<新版>日本語の作文技術」(朝日文庫)2015年 ISBN No. 978-4022618450

(8) 大野晋著「日本語練習帳」(岩波新書)1999年 ISBN No. 978-4004305965

(9) 里見惇著「文章の話」(岩波文庫)1993年 ISBN No. 978-4003106051

授業オフィスアワー

(曜日・時間帯・場所等)

授業時間後(休息时间)

そのほか、質問・相談受付方法について、授業内にて指定する。

準備学習、注意事項

授業時間外の学習 [準備学習等]、および学習上の注意事項

事前学習は必要ありません。事後学習は、1時間くらい必要だと思います。

作文課題が宿題として出されるので、課題を執筆・提出することが必須である。

その他注意事項

特別講義は学外の講師に来てもらう予定なので、日程その他詳細は未定である。

講義コード	B1002401	講義名	教養基礎セミナー 1 ①
-------	----------	-----	--------------

回	時限/年月日/担当	テーマ	内容・達成目標	範囲（章、ページ番号）
1		序論	全体の見通し	
2		論文 1	論文とは何か 1	浅野：1～2
3		論文 2	論文とは何か 2	戸田山：9～51
4		論文 3	論文の型	戸田山：78～99
5		議論 1	議論とは何か	浅野：3～4
6		議論 2	議論の形	戸田山：145～176
7		特別講義	未定	
8		文章 1	文章とは何か	浅野：4～8
9		文章 2	悪文 1	戸田山：211～220
10		文章 3	悪文 2	戸田山：221～232
11		作法	漢字、引用、参考文献、記号	戸田山：233～263
12		議論の構造 1	順接	配布資料
13		議論の構造 2	逆説	配布資料
14		論文の論点 1	題材 原子力発電の是非	
15		論文の論点 2	題材 原子力発電の是非	
16		定期試験（レポートで代替）		

講義コード	B1002402	開講年度	2021	講義区分	講義	講義開講時期	前期
講義名	教養基礎セミナー1②			開講学期	1	基準単位数	1.00
(副題)		実務経験		開講曜日	金曜日	開講時限	2時限
開講学部・学科	工学部先端工学基礎学科			科目分類名	教養科目		
英文科目名	Basic Academic Seminar 1(2)			科目分野名	ナンバリングコード1011		
担当教員	教育職員	◎ 浅野 幸治		職名	准教授	asano@toyota-ti.ac.jp	
担当教員	教育職員	江口 建		職名	教授	eguchi@toyota-ti.ac.jp	
担当教員				職名			

※担当教員が複数の場合は3名まで表示しています

授業の目的・方針

この授業では、大学生にとって必須な技術、すなわち論理的な文章を書く技術を伝授する。学期の最後のほうでは、具体的な問題を例に取り上げて、議論を作るための論点について考察してみる。

授業の達成目標

- ① 客観的で平明な文章を書けるようになること。
- ② 論文の作法を身につけること。
- ③ 実際に頭を使って自分の考えをまとめ、レポートや研究論文を書けるようになること。

学習・教育目標

【学部ディプロマポリシーに基づく。〔対応する授業の達成目標〕】

- ◎ (i) 日本語による的確なコミュニケーション能力および英語等の外国語による基本的なコミュニケーション能力〔①～③〕
- (ii) 物事に対して幅広い見方、考え方ができるとともに、説明できる能力〔①～③〕
- (iii) 十分な工学基礎の知識を修得し、それを工学分野の学習に適用する能力〔 〕
- (iv) 機械システム、電子情報および物質工学の各分野の基礎知識とこれらの内少なくとも1分野の専門知識・技術〔 〕
- (v) 目標を把握し、創造性を発揮し解決策を立て、問題を解決する能力〔 〕
- (vi) 修得した学識と能力を応用し、技術者の果たすべき役割と社会的責任を理解しつつ、研究を遂行できる能力〔 〕

授業形式

2クラス編成（後半クラス）

◆ICTを使用する授業（左に○）

クリッカーを用いた小テスト、Zoom等を用いた投票機能、チャットを用いた質問受付等

◆アクティブ・ラーニング型の授業要素（番号左に○）

- (1) PBL（課題解決型学習）
- (2) 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う）
- (3) ディスカッション、ディベート
- (4) グループワーク
- (5) プレゼンテーション
- (6) 実験、実技、実習およびその要素を含む科目、フィールドワーク

成績評価方法

〔 〕内は対応する授業の達成目標

宿題3回 50%〔①②③〕、レポート50%〔①②③〕

10回以上出席していることが、成績評価の前提条件である。言い換えると、出席回数が10回に満たない場合、自動的に不合格になる。

講義コード	B1002402	講義名	教養基礎セミナー1②
-------	----------	-----	------------

オンライン授業の場合も成績評価方法は同じとする。

教科書

戸田山和久著「新版 論文の教室——レポートから卒論まで」(日本放送出版協会)2012年 ISBN No. 978-4140911945
 浅野幸治「小論文の書き方」配布資料
 他にも資料を配る。

参考書、文献

- (1) 野矢茂樹「新版 論理トレーニング」(産業図書)2006年 ISBN No. 978-4782802113
- (2) 伊勢田哲治著「哲学思考トレーニング」(ちくま新書)2005年 ISBN No. 978-4480062451
- (3) 小河原誠著「読み書きの技法」(ちくま新書)1996年 ISBN No. 978-4480056597
- (4) 河野哲也著「レポート・論文の書き方入門 第4版」(慶應義塾大学出版会)2018年 ISBN No. 978-4766425277
- (5) 山内志朗著「ぎりぎり合格への論文マニュアル」(平凡社新書)2001年 ISBN No. 978-4582851038
- (6) 木下是雄著「理科系の作文技術」(中公新書)1981年 ISBN No. 978-4121006240
- (7) 本多勝一著「<新版>日本語の作文技術」(朝日文庫)2015年 ISBN No. 978-4022618450
- (8) 大野晋著「日本語練習帳」(岩波新書)1999年 ISBN No. 978-4004305965
- (9) 里見惇著「文章の話」(岩波文庫)1993年 ISBN No. 978-4003106051

授業オフィスアワー

(曜日・時間帯・場所等)

授業時間後(休息时间)

そのほか、質問・相談受付方法について、授業内にて指定する。

準備学習、注意事項

授業時間外の学習 [準備学習等]、および学習上の注意事項

事前学習は必要ありません。事後学習は、1時間くらい必要だと思います。

作文課題が宿題として出されるので、課題を執筆・提出することが必須である。

その他注意事項

特別講義は、学外の講師に来てもらう予定なので、日程その他詳細は未定である。

講義コード	B1002402	講義名	教養基礎セミナー1②
-------	----------	-----	------------

回	時限/年月日/担当	テーマ	内容・達成目標	範囲（章、ページ番号）
1		序論	全体の見通し	
2		論文1	論文とは何か1	浅野：1～2
3		論文2	論文とは何か2	戸田山：9～51
4		論文3	論文の型	戸田山：78～99
5		議論1	議論とは何か	浅野：3～4
6		議論2	議論の形	戸田山：145～176
7		特別講義	未定	
8		文章1	文章とは何か	浅野：4～8
9		文章2	悪文1	戸田山：211～220
10		文章3	悪文2	戸田山：221～232
11		作法	漢字、引用、参考文献、記号	戸田山：233～263
12		議論の構造1	順接	配布資料
13		議論の構造2	逆説	配布資料
14		論文の論点1	題材 死刑制度存廃論	
15		論文の論点2	題材 原子力発電の是非	
16		定期試験（レポートで代替）		

